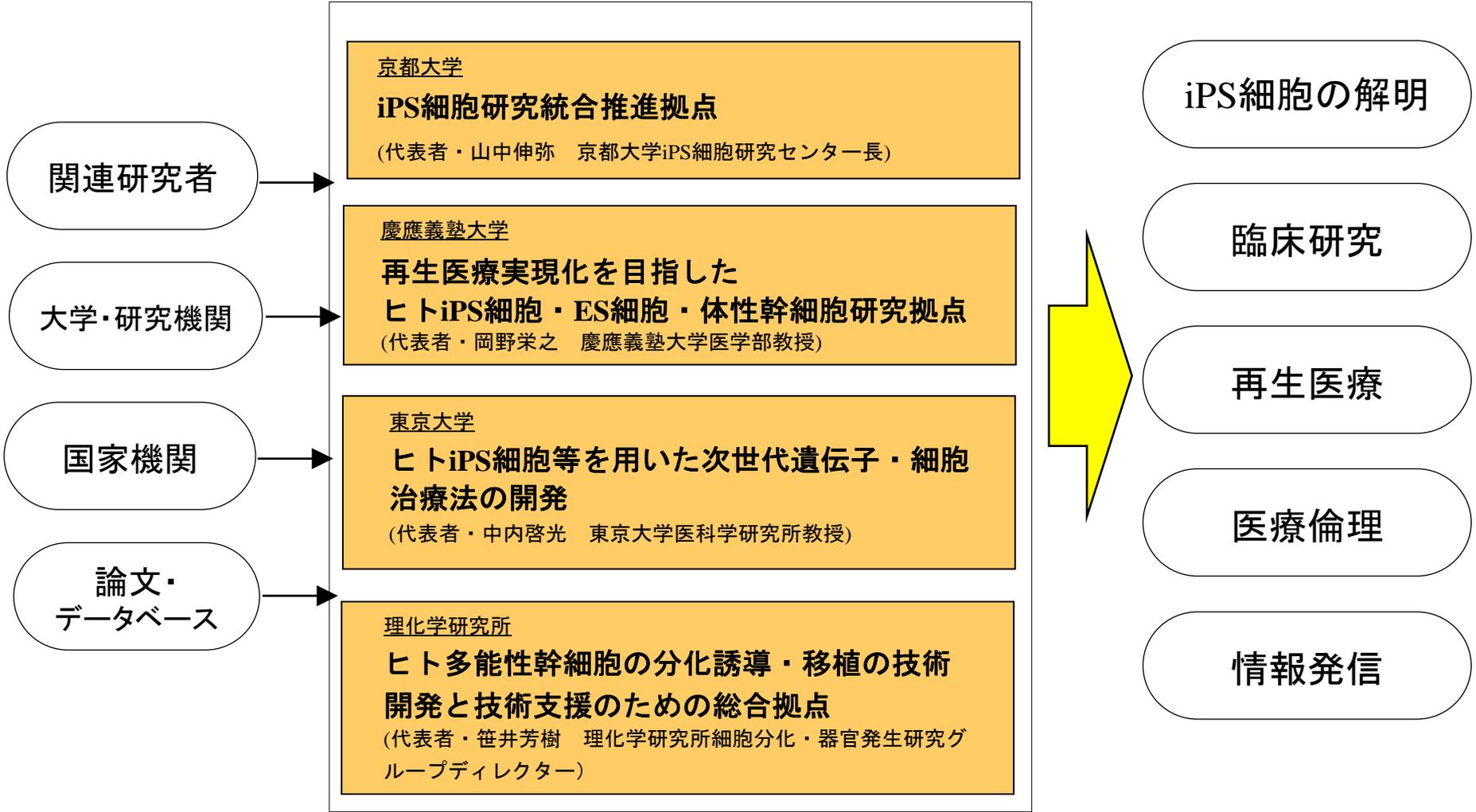


# 『iPS細胞研究』を例にした 知財戦略の支援について

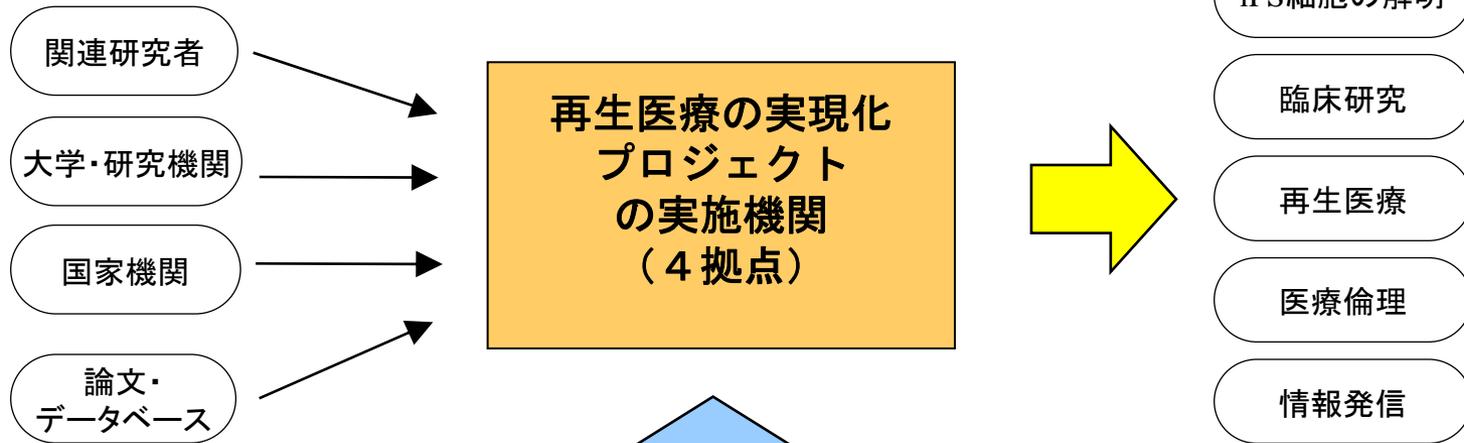
平成20年3月13日  
弁理士 佐藤 辰彦

# iPS細胞研究体制の現状（概略）

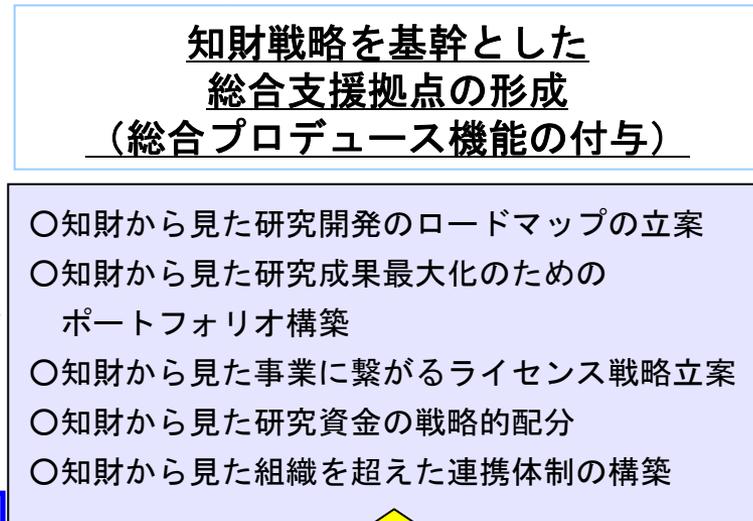
## 再生医療の実現化プロジェクトの実施機関 （4拠点）



## 【既存プロジェクト】



## 【知財から見た支援プロジェクト】



- 世界に勝つ戦略的研究開発の推進
  - 研究成果の相互活用と研究の効率化
  - 研究成果の統合的な発信
- 研究開発成果の最大限の保護・活用
  - 国内外における戦略的知財の獲得
  - 次世代の研究開発への橋渡し
  - 研究成果の保護のための制度改革
- 知財群による事業化の推進と連携
  - パテントプール・コンソーシアムの形成
  - 収益を念頭においたライセンス戦略の展開
  - 医薬品の創出・細胞バンク等の形成
- 知財から研究・開発を考えられる人材の育成
  - 知財プロデューサーの育成

**成功モデルを、他の研究開発プロジェクトに拡大**

**国の支援**

- 人的支援 (人材の投入etc.)
- 物的支援 (研究資金etc.)

**日本弁理士会iPS支援プロジェクト (支援委員会の設置と弁理士の派遣)**

- ・ 技術動向解析の支援
- ・ 知財ポートフォリオ構築に関するアドバイス
- ・ 権利化のための出願に関するアドバイス
- ・ 海外特許戦略の構築の支援
- ・ ライセンシング支援と紛争対応の支援

